

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌市こぶし館管理業務	所管課(電話番号)	保)障がい保健福祉部障がい福祉課(211-2938)
-----	-------------	-----------	----------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こぶし館	所在地	札幌市白石区川北2254番地6
開設時期	平成8年4月1日	延床面積	588.26㎡
目的	障がい種別に関わらず、利用者一人ひとりの障がい特性に応じ、就労に必要な訓練を効果的に行うことにより、一般就労に結びつける		
事業概要	就労移行支援事業		
主要施設	作業・訓練室(3室)、静養室、相談コーナー、事務室、駐車場		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 朔風		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:管理期間中の管理が良好に行われていると認められたことから、札幌市福祉施設条例第13条第2項規定に基づき非公募とした。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設管理業務、施設事業計画及び実施に関する業務、施設利用承認業務、等		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市障がい福祉計画の中にも掲げられている「福祉施設から一般就労」を重点課題と位置づけ、また、当法人の「障がいを負ったことは不運ではあっても、不幸ではない人生を送るために」という基本理念を基に、事業を行っている。「札幌市こぶし館」の事業内容に照らし合わせて、下記の事業目標等を設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業実習等の実践的な訓練の積み重ねから就労へ繋げる</li> <li>2. 「働く」だけでなく、「生活」にも着目していく</li> <li>3. 一人一人の想いを大切にする</li> </ol> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>札幌市こぶし館を利用希望する方が公平に利用できるように、見学希望の方や体験利用希望の方に対しても可能な限り対応しているが、コロナ過が影響したのか見学や利用相談等が少なくなっていた。しかし就労アセスメント利用での問い合わせは例年並みとなっていた。</p>	<p>コロナ禍の中で、企業実習の中断や自粛等の影響受け、就労目だった利用者が体調を崩し就労を辞退する等、就労者が1名も輩出できなかった。</p> <p>年度内新規利用者は12名(前年度より3名増)で、その内就労アセスメント者は7名(前年度より1名増)となり、就労アセスメントのニーズは高い傾向。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・重点課題に位置付けている利用者が一般就労に繋がらなかったことについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大と相当程度の関連性が認められる。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

札幌市生活環境の確保に関する条例を順守し、利用者の活動に支障をきたすことの無い範囲で照明の間引きや使用後の各部屋の消灯の徹底等の電力量削減や、冬期間の灯油等の燃料消費量の削減に努めてきた。また事業所での出るごみの量の軽減を図るため、リサイクル可能なゴミ(雑紙・古紙等)の分別を徹底した。

職員・利用者ともに、ミーティング等で、省エネやごみ分別等の環境問題について意識の徹底を行い軽減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

業務分担については分担表を作成し、職員全員が役割分担を割り当てて行う。また各種マニュアルを作成し、緊急時の対応や日常的な伝達システムを全体周知をしている。事業開始当初より、内部の組織体制等がそのままの状態となっていたため、年度後半から見直し等を行い、調整を行ってきた。次年度より再構築する予定。

今年度は、業務分担の担当役割がマンネリ化してきたため、業務内容を一度見直し、万が一職員の入替わりがあっても、業務に支障が出ないように協議した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

札幌市障がい福祉計画との整合性を図り、公の施設であることを自覚し、公平・公正な利用に供するように管理運営を行うように努めました。毎朝夕のミーティングは勿論の事、月一で利用者の個別支援計画進捗状況等に関するサービス担当者会議と、事業所運営に関する運営会議を開催し、情報共有と支援の統一化を図るよう努めた。

情報共有を大切に、支援や対応の不備が生じないように努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

1. 自家用電気工作物保安管理(電気保安)
2. 消防用設備(火災報知機)設備定期点検
3. 夜間及び休日等警備 等

特に問題は見られない。

監督及び履行確認は徹底してきた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	R3. 3. 10 運営協議会開催 ・札幌市こぶし館の現状と課題 ・アンケートの結果について
<協議会メンバー> 社会福祉法人義弘会 障がい者支援施設光友会施設長、札幌市障がい福祉課運営指導係係長・担当、利用者代表・保護者代表、法人常務理事、札幌市こぶし館施設長・主任	

新型コロナウイルスの流行に伴い、通常での会議開催が困難だったため、昨年度に引き続き、書面会議として開催。書面会議ではあったが、メンバーの方々より複数のご意見をいただくことが出来た。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の定める事務規定・経理規程に則り行う。</li> <li>・法人監査と外部監査を実施。</li> <li>・現金の取り扱いについては、経理規程及び経理規程細則により取扱ことのできる範囲を定め行う。</li> </ul> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の「苦情解決システムに関する規定」により、解決のための体制、方法を定めている。</li> <li>施設玄関前スペースにご意見ポストと専用用紙を設置し、ご意見や苦情等を発信しやすいように対応する。</li> </ul> <p>今年度は、1件のご意見が札幌市へ電話であり、当事業所へ簡単な概要報告を受けた。元利用者の方から在籍時に当事業所とのやり取りで疑問を感じた部分を確認したく、電話連絡をしたとの事。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>個別支援計画に沿って3ヶ月に1度のモニタリングと計画の見直しのための三者面談を行う。また、個別支援計画の進捗状況については毎月サービス担当者会議を開催して、職員間で情報の共有を図り、就労に向けた適切な支援を行っている。</p>	<p>法人本部と連携して適正に取り組めている。</p> <p>当事業所として対応した内容等をお伝えし、札幌市より了承を得ている。</p> <p>モニタリング等は、計画通り行えている。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の雇用に関しては、労働基準法、労働安全衛生法、労働災害補償保険法、健康保険法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の施設の管理運営に関する労働関係法令を遵守し、就業規則その他の必要な規定等を整備するとともに、必要な届出を監督官庁に届けに行っている。</li> <li>・雇用環境については、より質の高い仕事や生活が実現できるように、働きやすい環境づくりに努めてきた。</li> </ul>	<p>雇用環境を整備し、働き甲斐のある職場づくりを心掛けている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>			
A	B	C	D								
<p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>施設内作業は勿論のこと、施設外での企業実習等も積極的に行っていることから、万が一の事故に対応するマニュアルの整備や安全管理を徹底してきた。保険関係も加入しているが、大きなけがや事故の発生はなかった。また、緊急時等の連絡先を利用者や保護者に公開し、夜間や休日における緊急時対応についても整備している。</p>	<p>大きなけがや事故が発生することもなく、緊急時の連絡体制も問題なく行っていた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>			
A	B	C	D								
<p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こぶし館外部ほか改修工事が入り、外装や電気設備が新しくなったことで、利用者からも良いと好評を得ている。</li> <li>・冬期間にストーブの経年劣化から生じる不完全燃焼等の不具合が多数発生しており、安全管理の面から改善が必要。 (札幌市へ報告済み)</li> <li>・保守点検に関しては、業務委託している。(自動ドア、警</li> </ul> <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛消防隊を結成し通報、避難誘導、消火等の役割分担の明確を明確化した。</li> <li>・防災訓練は2度開催。5月30日 事業所内にて災害発生時の対処法について講座を開催。3月14日 事業所内にて火災訓練を実施。</li> </ul>	<p>ストーブの交換に関しては、台数が10台以上となり費用面で大きな問題となっている。</p> <p>災害発生時の対処法に関する講座では、クイズ形式で行い、参加者からも積極的な意見が多く出されていた。</p>													
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 就労に関する学習機会の提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を通して施設内作業は勿論の事、企業実習等の実践的な作業訓練機会を多く取り入れたが、コロナ過の影響により自粛する期間が多く、これまでより実施回数は少なかった。(4企業様)</li> <li>・作業訓練以外にも、履歴書作成練習等、個別対応を行った。</li> </ul> <p>▽ 就労に関する情報収集及び提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークを訪問し、求人票の基本情報収集の方法や窓口での対応を通じて、様々な職種があることを知る機会を設けた。</li> <li>・合同面接会にも参加し、就労に関する各種情報収集を行った。</li> </ul> <p>▽ 利用に関する相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間で電話や来所での相談や見学等を含めると延べ43件の相談対応を行った。また学校等の長期休暇期間を使用した就労アセスメントを7件対応している。支援学校だけではなく、地域の高校から卒後の相談等の依頼も数件あった。</li> </ul>	<p>全体で行う講座は、密になりやすいためほぼできなかったが、個別や小集団での対応して行った。</p> <p>関係機関との連携により、様々な情報を収集することができ、サービスの向上につながっている。</p> <p>地域の学校では潜在的に福祉サービスの支援を必要としているケースがあり、どう福祉と繋げていけるかが今後の課題になっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・企業実習の積極的な導入など、実践的訓練を進めている点は評価できる。</p> <p>・関係機関との連携を図りながら、利用者増を図る取組を進めている点は評価できる。</p>	A	B	C	D								
A	B	C	D												
<p>(5) 施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 令和2年度目標20名 (実績17名85%達成)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1839 922 1928"> <thead> <tr> <th>年度始在籍者</th> <th>年度途中利用開始</th> <th>年度中の退所者</th> <th>年度末在籍者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※就労アセスメント7名は上記に含まれていない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職者数 令和2年度目標10名 (実績0名 0%達成)</li> </ul>	年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者	10名	5名	4名	9名	<p>自主事業のB型事業へ移行した利用者が多く、平均利用者数が昨年度より大幅に減少してしまった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・利用者数、就職者数ともに計画を下回るものの、利用者とのアセスメント等により適切な支援に取り組む姿勢は評価できる。</p>	A	B	C	D
年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者												
10名	5名	4名	9名												
A	B	C	D												

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務 ・事業所のホームページを開設し情報のPRを行い、フェイスブックも始め、様々な取組についてお知らせしている。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 ・特になし</p>	<p>より積極的な広報活動をおこなっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。									
A	B	C	D														
・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。																	
<p>2 自主事業その他</p>																	
<p>▽ 自主事業 就労定着支援を行っている。利用していただいている利用者は、安定して企業就労を維持しており、また雇用企業先からも定着支援を好意的に受け入れていただき、良好な関係を維持できている。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・事業所封筒等の印刷物を市内企業や福祉事業所に依頼。 ・元気ジョブを通じて、施設内作業の確保(2社より作業依頼)</p>		<p>定着支援では、利用者にも企業にも安心感を持っていただけるよう心掛けていた。</p> <p>継続していく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・適正に事業を実施している。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・適正に事業を実施している。									
A	B	C	D														
・適正に事業を実施している。																	
<p>3 利用者の満足度</p>																	
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 1106 360 1301"> <p>実施方法</p> </td> <td data-bbox="360 1106 979 1301"> <p>・調査期間 令和2年2月1日～2月13日 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(7名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1301 360 1868"> <p>結果概要</p> </td> <td data-bbox="360 1301 979 1868"> <p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて約86%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて100%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>5. 就労や生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1868 360 2047"> <p>利用者からの意見・要望とその対応</p> </td> <td data-bbox="360 1868 979 2047"> <p>・館内が寒い・・・ ・仕事でわからないことを教えてくれたり、悩みがあった時に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれるから ・コロナ禍で色々工夫して楽しませてくれてありがたい</p> </td> </tr> </table>		<p>実施方法</p>	<p>・調査期間 令和2年2月1日～2月13日 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(7名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100%</p>	<p>結果概要</p>	<p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて約86%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて100%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>5. 就労や生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p>	<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・館内が寒い・・・ ・仕事でわからないことを教えてくれたり、悩みがあった時に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれるから ・コロナ禍で色々工夫して楽しませてくれてありがたい</p>	<p>全体的に高評価をいただいておりますが、まだまだ細かな対応で不十分な部分がある為、今回の結果に満足することなく、支援の在り方や事業所の取り組み方についてセルフチェックをしていきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・要求水準を上回る満足度であり、評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・要求水準を上回る満足度であり、評価できる。			
<p>実施方法</p>	<p>・調査期間 令和2年2月1日～2月13日 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(7名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100%</p>																
<p>結果概要</p>	<p>1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて約86%</p> <p>2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて100%</p> <p>3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて100%</p> <p>5. 就労や生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p> <p>6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて約86%</p>																
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・館内が寒い・・・ ・仕事でわからないことを教えてくれたり、悩みがあった時に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれるから ・コロナ禍で色々工夫して楽しませてくれてありがたい</p>																
A	B	C	D														
・要求水準を上回る満足度であり、評価できる。																	

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R2計画	R2決算	差(決算-計画)				
収入	69,239	69,150	▲ 89	令和2年度は当初の計画に近づくような収支で決算を終えました。今年度も、本部会計から1,500万円の繰入が必要となりました。こぶし館単体での決算としては、非常に厳しい決算で、当年度も法人全体の収支を圧迫する結果となっております。令和3年度も引き続き、利用者増と清掃事業の充実化を図りたいと思います。			
指定管理業務収入	43,450	43,536	86				
指定管理費	0	0	0				
給付費	27,435	27,521	86				
利用料金			0				
拠点区分間繰入(法人本部より)	15,000	15,000	0				
その他	1,015	1,015	0				
就労生産事業収入	25,489	25,326	▲ 163				
自主事業収入	300	288	▲ 12				
支出	64,728	64,465	▲ 263				
指定管理業務支出	33,774	33,745	▲ 29				
就労生産事業支出	25,789	25,613	▲ 176				
自主事業支出	5,165	5,107	▲ 58				
収入-支出	4,511	4,685	174				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	4,511	4,685	174				

令和2年度は、最大で利用者数が16名まで増えました。依然赤字決算からは脱却できず、本部会計より年々と多額の繰入をしなければならぬ状況となっています。令和3年度は、コロナ禍ではありますが、新規利用者を増員するとともに施設外就労の開拓に力を入れ、経営の安定化を図っていきたいと思います。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 昨年同様、利用者確保と利用者数の増加を最優先課題とし、収入を増やして、経営基盤の安定を図る。引き続き、法人本部会計からの繰入を受けながらも経営を行っている。また同時に経費削減と効率化を念頭に収支改善を徹底した。	学校や各種企業や関連団体と連携して利用者の確保と収入増加の道筋をつけた。	適 不適 ・法人本部から繰り入れを受けながらも、安定した経営を保持している。
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例の規定により、適切に対応している。		適 不適 ・各条例を順守し、適正に対応している。

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>自主事業として就労継続支援B型事業を開設した影響もあり、昨年度よりも大幅に利用者が減ってしまった。前年度利用者数も改善がみられただけに残念な結果となってしまった。同様に毎年一般就労者を輩出してきたが、コロナ過の影響もあり1名も就職者を輩出することが出来なかった。就労移行支援事業所としての役割をなしておらず、大変申し訳ない気持ちであります。昨年度より新型コロナウイルスの影響により、様々な面でダメージを受けていることは事実であるが、それでも実績を上げている事業所も多くある為、もう一度取組み内容等を見直し、再構築していきたい。</p>	<p>新年度から就労移行支援事業所の定員を10名に変更し、再出発を図りたい。単純に利用者数を変更するだけではなく、作業内容や取組を見直し、より実践的な環境設定を取り入れて、緊張感のある事業所づくりを目指していきたい。</p> <p>また、一般就労者も再び複数名輩出できるよう、ハローワークや関係機関との連携を密に持ち、情報共有できるよう心掛けていきたい。</p> <p>職員の資質向上を目指し、外部研修にも積極的に参加して、日常支援に活かしていきたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>法人本部から繰り入れを受けつつも人員を手厚く配置している点や、利用者の個々の特性を把握したきめの細かい支援を行っている点は高く評価できる。また、関係機関との連携や広報活動を積極的に進めている点については評価できる。</p>	<p>新規利用者のさらなる確保や、一般企業への就労実績の向上を図ることが求められる。</p>